


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立多摩工業高等学校</b> 全日課程			進路	実績	4年制大学	6.1%	短期大学	0.6%	専門学校	25.8%	就職	66.9%	その他	0.6%
	<b>「ものづくり教育」・「資格取得」・「部活動」を通して人づくりを推進します。</b>			学んだ知識や技術・技能を活かした就職や進学を目指している。											
基	所在地			〒 197-0003 福生市熊川215番地 電話番号 042-551-3435											
	アクセス			(1) JR青梅線・五日市線・八高線・西武拝島線「拝島」駅下車徒歩10分 (2) (3)											
本	学 科			工業科(機械科、電気科、デュアルシステム科、環境化学科)											
	在 籍 数			機械科202人(男子198人、女子4人)、電気科139人(男子133人、女子6人)、デュアルシステム科66人(男子65人、女子1人)、環境化学科100人(男子85人、女子15人)											
情	教育課程の特徴			工業教育・高度な資格取得可能な授業、少人数授業(専門学科、家庭科)、習熟度別授業(数学、英語、専門学科)、環境教育の充実											
	ホームページ			<a href="http://www.tamakogyo-h.metro.tokyo.jp">http://www.tamakogyo-h.metro.tokyo.jp</a>											
報	その他			デュアルシステム導入校、設備拠点校実習校、デュアルシステム科設置 制服 男子・ブレザー(紺) 女子・ブレザー(紺)											
	募集人員			推薦:機械科21名・電気科10名・環境化学科10名・デュアルシステム科10名一般:機械科49名・電気科25名・環境化学科25名・デュアルシステム科25名											
本	入 学 者 選 抜 情 報			29年度入学生 推薦 学力検査 30年度入学生 推薦 学力検査 31年度入学生 推薦 学力検査											
	その他の特徴			文化・スポーツ等特別推薦 男子(剣道4名・硬式野球4名) 剣道部:平成30年度関東大会出場決定											
主な学校行事			修学旅行(4月)・体育祭(5月)・文化祭(10月)												

目指す学校 「地域社会において、工業技術者として即戦力となる人材を育成する」ために、テクノロジーの基礎・基本を徹底して学びながら工業技術・技能を習得する工業高校を目指す。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目 標 ①	<b>都立工業高校のモデル校としての役割を担う学校を目指す</b> ①実習指導や資格取得指導を充実させるとともに、学校全体の技能・技術の向上を図る。 ②地域企業との情報交換を密に行い、インターンシップ、長期就業訓練における生徒の実習評価手法を開発する。また地域の協力企業の開拓をさらに強化する。	①多摩職業能力開発センターにおいて「JOBFES 2019」と題して、デュアルシステム科協力企業67社が集まり、企業の求める人材について生徒と対話型ヒアリングを実施した。また、多摩職業能力開発センターと連携した、実習体験を実施した。次年度も引き続き連携を強化していきたい。 ②生徒の学力に応じた学習形態を検討し、工業の知識、技術・技能を指導する方法や授業内容の工夫・改善を行った。個性・能力に応じた分かる授業の工夫・改善に取組んだ。また各授業において、アクティブラーニング等の体験型教育の実践とICTを活用した授業を推進した。	
目 標 ②	<b>生徒募集や環境教育等に全教員が組織的に取組む</b> ①学校説明会や見学会、ホームページを充実させ、生徒募集・学校PR活動を推進する。特にデュアルシステム科開設に伴い募集活動を全教職員で組織的に取組む。 ②環境省「エコアクション21」認証校として、環境保全や環境負荷の低減に向けて、全教育活動全般を通して推進する。	①学校説明会等の参加者は1309名となり、昨年の数値を超えることができた。多くの生徒が協力し、学校の魅力を発信してくれたことが成果につながった。結果として、入学者選抜における応募倍率も、低迷する専門高校の状況の中で、結果は残せたと考えられる。引き続き教員・生徒が一体となって学校PRに努めていきたい。 ②今年度はエコアクション21の認証を受けてから13年経った。今年度末に中間審査により高評価を受けた。環境保全・環境負荷低減活動も安定して実施できている。	
目 標 ③	<b>地域社会との交流・連携、奉仕活動を推進し、地域に根ざした学校経営を実践する</b> ①地域社会との交流・連携、奉仕体験活動や生徒会活動・部活動などのボランティア精神指導を通して、地域に根ざした学校経営を実践する。 ②小中学校との連携事業、各種公開講座や学校開放事業による施設、設備の有効利用を目指した開放など、地域貢献に努め地域から頼られ支えられる学校を目指す。	①地域との連携活動は、今後はさらに充実を図っていく。特に生徒会や部活動の連携の増加とともに、本校で実施している拠点校実習を小・中にも拡大し、併せて本校のPR活動の充実を図る。 ②地域との連携では、これまで以上に活発にしていく必要がある。今後の取組としては、地域からの要望も多い自治会の防災訓練への参加をはじめとした地域との連携を重点的に行っていく。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	各種検定・資格取得者数	700	533	600	550	610	463	630	375	640	650	650
目標②	学校説明会等の参加人数		1,139	1,200	1,270	1,300	1,277	1,300	1,309	1,350	1,350	1,350
目標③	地域や小・中学校との連携数		28	30	31	30	30	35	25	35	35	35

